

大音生活にもっと“キラリ”を♪

MUSE

10 Vol.247
October
2018

音楽ではたらく、
その日のために。

2017年、
学内に発足したプロダクション
「大音ラボ」と「epoch/c」。
学びと実践を繰り返しながら
「音楽ではたらく」を実現するため、
日々奮闘する学生の今に迫りました。

MUSE | October 2018
Vol.247

音楽ではたらく、その日のために。

学校法人 大阪音楽大学出版部 [MUSE] Vol.247 2018年10月22日発行 <http://daion.ac.jp>
発行：学校法人大阪音楽大学 〒554-8555 豊中市内幸町1-1-8 TEL:06-6334-2204 FAX:06-6334-2141
制作・編集：広瀬愛 muse@daion.ac.jp 制作協力：印刷：(株)廣達デザイン

大阪音楽大学

CONCERT SCHEDULE

演奏会やオペラなど、大音関連のイベント。

大阪音楽大学主催公演

大阪音楽大学コンサート・センター
TEL:06-6334-2242

開催日時・出演者等変更になる
可能性があります

クラシック・ジャム・カルテット コンサート

10/26(金) 18:30～ ●Sax: ファ
ブリス・モレッティ、A.Sax: フィリッ
プ・シャージュ、T.Sax: オリヴィエ・
ドゥフェイ、B.Cl: ジャン＝マルク・
ヴォルタ ●MH ●一般3000円、小・
中・高校生1000円(全自由席)

第54回オペラ公演

「テレフォン」 「泥棒とオールドミス」
【原語(英語)上演・字幕付】

11/2(金) 19:00～、11/4(日) 14:00
～ ●演出: 栗園淳、指揮: 森香織、管
弦楽: ザ・カレッジ・オペラハウス
管弦楽団、出演: 「テレフォン」ルー
シー・石橋栄実、ベン・晴雅彦、 「泥
棒とオールドミス」ミス・トッド/
児玉祐子、ボブ・西尾岳史、レティ
シャ・中嶋康子、ミス・ピンカート
ン/田邊織恵 ●OH ●一般7000円、
シルバー6000円、小・中・高校生
3000円(全指定席)

第30回ザ・コンチェルト・コンサート

11/8(木) 18:00～ ●選抜学生による
協奏曲演奏会、指揮: 瀬山智博、管
弦楽: ザ・カレッジ・オペラハウス管
弦楽団 ●OH ●1000円(全自由席)

第6回ミレニアムピアノコンサート

11/9(金) 17:15～ ●出演: 大竹道哉、
小川裕子 ●MH ●無料(整理券なし)

第31回ホルンアンサンブルのタベ

11/10(土) 18:30～ ●指揮: 池田重
一、演奏: 大阪音楽大学ホルン専攻
生 ●常翔ホール ●500円(全自由席)

Daion 吹奏楽フェスティバル2018 ～吹奏楽の饗宴～

11/11(日) 14:00～ ●大阪市立文の
里中学校、宝塚市立宝梅中学校、
近江高等学校、滝川第二高等学校、
東海大学付属大阪仰光高等学校、
箕面自由学園高等学校 ●OH ●無
料(要整理券) ※先着順、1人2枚ま
で。なくなり次第終了。

第59回ミレニアム・スチューデント・ コンサート

第1夜: 11/12(月) 18:00～、第2

夜: 11/14(水) 18:00～ ●オーディショ
ン選抜学生によるコンサート ●MH
●無料(要整理券)

第41回邦楽演奏会

11/16(金) 18:30～ ●大阪音楽大学
邦楽専攻生、邦楽専攻教員他 ●常
翔ホール ●1000円(全自由席)

大阪音楽大学 大学院定期演奏会2018

11/19(月) 18:00～ ●大阪音楽大
学大学院生による演奏会 ●OH ●
1000円(全自由席)

大阪音楽大学 第61回定期演奏会

12/8(土) 18:00～ ●指揮: 井上道義、
ヴァイオリン: 漆原朝子、管弦楽: 大
阪音楽大学管弦楽団 ●ザ・シンフォ
ニーホール ●一般3000円、小・中・
高校生1000円(全指定席)

第7回ミレニアムピアノコンサート

12/19(水) 17:15～ ●出演: 西本由
香、北村美奈子 ●MH ●無料(整理
券なし)

大阪音楽大学後援演奏会

土井緑 ピアノリサイタル

～バリで煌めく作曲家達 Vol.4～
平成30年度(第73回)文化庁芸術祭
参加公演
10/24(水) 19:00～ ●ザ・フェニッ
クスホール ●3500円(当日+500円)
●artists@gol.com(大阪アーティ
スト協会)

第9回茨木新作音楽展

10/27(土)、28(日) 各日16:00～ ●本
学教員/大澤弘之、楠井淳子、熊
谷美紀、駒井肇、八田京子、森川陽
子、渡辺さとしを含む14人の作曲家に
よる演奏会 ●茨木市市民総合セン
ター(クリエイティブセンター) ●2500円
●komasol@daion.ac.jp(駒井)

片岡リサ 20周年記念弾リサイタル

～華独奏曲の変遷
11/8(木) 19:00～ ●ザ・フェニッ
クスホール ●一般4000円、学生2000
円 ●☎06-6301-0311(片岡リサ邦
楽アンサンブル事務局)

next mushroom vol.14

作曲家シュテファン・プリンス初来日
～ヨーロッパの今
11/9(金) 19:00～ ●葛西友子、上田希
岡本真弓、大植圭太郎、多井智紀、

森本英希、山田岳、中村麗、有馬純寿
●ローズ文化ホール ●3000円(当日+
500円) ●nextmushroom2001@
gmail.com(next mushroom
promotion)

ドビュッシー没後100年記念

福田清美テノールリサイタル

11/10(土) 18:00～ ●Ten: 福田 清
美、Pf: 田口はるみ ●京都府民ホー
ル ALTI ●3000円(当日+500円) ●
fukuda@nara-edu.ac.jp(福田
清美)

第20回トランペットアンサンブル演奏会

11/25(日) 15:00～ ●大阪音楽大学
トランペット専攻生による演奏会 ●
OH ●一般500円、学生以下無料 ●
daion_trumpet@yahoo.co.jp
(代表: 中山)

第34回ユーフォニアム・チューバ アンサンブルコンサート

11/27(火) 18:45～ ●指揮: 木村寛仁、
飯田裕貴、演奏: 大阪音楽大学ユー
フォニアム専攻生、チューバ専攻生 ●
OH ●500円 ●euphtuba.ocm@
gmail.com(大阪音楽大学ユーフォ
ニアム・チューバアンサンブル)

鳥居知行 ピアノリサイタル

11/30(金) 19:00～ ●いづみホー
ル ●3000円(当日指定) ●artists@
gol.com(大阪アーティスト協会)

第31回トロンボーンアンサンブルコンサート

12/1(土) 18:30～ ●大阪音楽大
学トロンボーン専攻生による演奏
会 ●OH ●500円(当日+500円) ●
kanbone0820@gmail.com(代
表: 中道佳菜)

第33回大阪音楽大学サクソフオー ンオーケストラによるコンサート

12/9(日) 14:00～ ●大阪音楽大学
サクソフオーン専攻生による演奏会
●OH ●500円 ●daion2018sx@
gmail.com(代表: 宇都宮慶紀)

第29回大阪音楽大学

クラリネットオーケストラ演奏会

12/11(水) 19:00～ ●大阪音楽大学
クラリネット専攻生による演奏会 ●い
づみホール ●1000円(11/1～受付開
始) ●clarinetorchestraosaka@
yahoo.co.jp(クラリネットオーケ
ストラお問い合わせ)

大阪音楽大学フルート専攻生によるフ

ルートオーケストラ第35回定期演奏会
12/22(土) 18:00～ ●大阪音楽大学
フルート専攻生による演奏会 ●OH
●500円 ●fl_orchestra@yahoo.
co.jp(代表: 久保絵里乃)

幸楽会後援演奏会

アルゼンチン・タンゴ・コンサート

～名曲選～

11/10(土) 14:30～ ●アストロリコ四
重奏 ●Cafe 萬屋宗兵衛 ●3000
円+1ドリンクオーダー600円 ●☎
080-8915-0853(OTRA音楽事務
所)

アンサンブル・フロット

第19回定期演奏会

吉野安奈追悼特別演奏会

10/31(水) 19:00～ ●指揮: 高曲伸
和、合唱: フロット室内合唱団・レ
クイエム記念特別合唱団、管弦楽:
フロット室内管弦楽団 ●豊中市立
文化芸術センター中ホール ●一般
3500円、学生3000円(全自由席
/当日各+500円) ●☎050-3598-
2138(アンサンブル・フロット)

西田歩美 サクソフオーンリサイタル

11/18(日) 14:30～ ●Sax: 西田 歩
美、Pf: 陣門華子 ●フィガロホー
ル ●一般3000円、学生1500円
(全自由席/当日各+500円) ●
nishidaconcert@gmail.com

足利真貴 ソプラノリサイタル

11/19(月) 19:00～ ●Sop: 足利真貴、
Pf: 赤松林太郎 ●大阪市中央公会
堂小集會室 ●3000円 ●☎075-
981-6022(オフィスピアライズ)

ミ・ベモル サクソフオーンアンサンブル 第34回定期演奏会

12/2(日) 14:00～ ●いづみホー
ル ●A席4000円、B席3000円、C席
2500円、学生席2000円(全指定
席/当日各+500円) ●☎06-6944-
1188(いづみホールチケットセン
ター)

戌の日 Concert

12/8(土) 11:00～ ●Vo: 大西麻希
子、Pf: 竹田加奈子 ●イーグレひめ
じアートホール ●500円 ●http://
kanakopiano.web.fc2.com/
mail.html(竹田加奈子お問い合わせ
先)

OH: ザ・カレッジ・オペラハウス MH: ミレニアムホール ※必ず主催者発表のものと照合してご確認ください。

次号は
2019年
1月15日
発行予定です。

「MUSE」の住所・氏名変更の手続きについて>変更前と
変更後の住所や氏名(よみがな)を大学へお知らせください。
メール(muse@daion.ac.jp) か FAX(06-6334-2141) で
受け付けております。
※郵便物の転送サービスは期間が終わると配達されなくなります。

右記のSNS 配信
サービスでも大音
情報をチェック
できます。

最新情報を配信中!



公式FB @ocm_t daion_insta

- 1 オープニングのシーンからロケスタート。100周年記念館に「すごきれい！」
- 2 録音スタジオのブースでセッティング。本格的な機材を前にテンションUP！
- 3 「この音はもう少し声を張ってくれますか」一音一音、的確に指示していく。
- 4 事前のレクチャーをもとに“自主トレ”をしてレコーディングに臨んだ3人。
- 5 休憩中も真剣な表情で楽譜と向き合い、各パートの注意点を念入りに確認。
- 6 番組挿入歌を担当したのはaru／谷口歩さん、nana／城家菜々さん(ともに大3)の2人からなる作曲ユニットancool。
- 7 ディレクターのリクエストにテンポよく応えるレコーディングエンジニア。
- 8 「ファルセットが効いてないよ(笑)！」撮影クルーもディレクションに参加！?
- 9 専用マイクでブース内とコミュニケーション。和やかな雰囲気で行いました。
- 10 エンディング曲を担当した山田結互さん(左・大3)。ディレクションに臨む緊張の一瞬。
- 11 コントロールルームからの指示に苦戦しながらも、各パートを歌い切りました。
- 12 「今のテイク、バッチリでしたよ！」プレイヤーをノセる声の掛け方も大事なポイント。
- 13 当初の予定になかったコーラスの録音には、現場のスタッフ全員が参加しました。
- 14 コーラスのレコーディング終了後は、城家さんのピアノパートの収録で一日が終了。

質の高い作品を生み出す、理想的な学びの場。

高原康弘・須田敬介

『オガッタ!?』プロデューサー

TV番組やCM制作などで昔から縁があったこと、また、番組のターゲットが若年層なので、大学で指導しているという点からも親和性があるのではないかと思います。渡邊先生に曲制作をオファーしました。曲調は「売れ線なモノを」と依頼したのですが、デモで上がってきたのがほぼイメージ通りでビックリ。もちろん、私たちが聴く前に渡邊先生の手直しが入っていると思いますが、私たちからは修正をお願いするところがなく、学生のスキルの高さに感心しました。レ

コーディングの現場でも学生がディレクターとして演奏者に的確な指示を出し、渡邊先生は学生を引き立てながらしっかり手綱を締める。プロの現場でありながら、理想的な学びの場でもあるように思います。今回のTV収録を実践の題材にさせていただいたのは幸せなことですし、思いを具現化するために制作者として日々闘っている私たちも刺激を受けました。若者ならではの感性で良いモノを作ってもらい、これからもっともっと一緒に仕事ができていいですね。

大音で収録した様子は10月19、26日の2回にわたって仙台放送で放映予定。放映後はYouTubeの「オガッタ!?公式チャンネル」でweb版が公開されます。ぜひご覧ください！

出演者の寺山武志さん、武子直輝さん、高野洸さん(左から)



10



11



12



13

14



3



5



6



7



9



1



2



4

DAION LAB:Recording

仙台放送「オガッタ!?」 Cr専攻の学生が 番組挿入歌を制作

仙台放送で金曜日の深夜に放映されている人気テレビ番組「オガッタ!?」。3人の若手俳優が全国のB級スポット巡りやクセのある人物との出会いを通して成長を目指すバラエティー番組です。この番組のオープニング、挿入歌、エンディングの3曲を大音ラボが受注し、うち2曲をCr専攻の学生が制作。9月に番組出演者や撮影クルーが学内の録音スタジオを訪れ、レコーディングとロケ収録を行いました。

8



学びと実践の繰り返しで、
プロのクリエイターとして
鍛えられる実感。

榎内日南子

[ミュージッククリエーション専攻・大2]



学生が楽曲制作・出演

ミュージッククリエーション専攻PV「Dear Music」が完成



Cr専攻のPV「Dear Music」が完成し、7月からYouTubeで公開しています。楽曲制作だけでなく、出演者も専攻生というCr専攻の魅力が詰まった映像です。躍動感あふれる学生たちの姿をぜひご覧ください。



榎内さんも
PVに出演
しています。



大

音ラボには1年生の頃から参加する機会をいただき、これまでアニメ音楽コンサートやNHKのラジオドラマなどのプロジェクトで作曲を経験させていただきました。授業の課題とは違い、大音ラボは、仕事としての作曲が求められるため、クライアントの思いを最も尊重しなければなりません。ラジオドラマでは大学まで来られた監督さんと思いを共有しながら、二人三脚のような形で曲を作ったことが印象に残っています。

レコーディングのディレクションは専攻の実習や学内のプロジェクトを経験する中で、歌手や演奏者の気持ちをノセる雰囲気づくりの難しさを痛感しています。どのタイミングでどんな声の掛け方をすればいいか、人によって心地よいコミュニケーションの取り方は違います。今後、大音ラボの外部プロジェクトを通して、先生方や同じ専攻生など周囲の方の手法も取り入れながら身につけていきたいと思っています。

専攻の授業では、毎週さまざまなジャンルの曲を作り提出する課題があります。聴いたことのないジャンルの曲でも、限られた時間の中で自分なりに分析して曲として仕上げることを繰り返し返していると、作曲の引き出しが増えていくことを実感します。そうして増やした引き出しを大音ラボで実践しながらブラッシュアップしていく——この繰り返しによって、プロのクリエイターとして鍛えられていくのだと感じています。

DAION LAB:Creator

プロの現場で成長中！ 未来のクリエイターたち。

専攻の学びと、大音ラボでの実践。そこでの気づきやメリットを
これからの活躍が期待される“クリエイター”に伺いました。



「渡邊先生のようにになりたい」と話す山田さん。「今大学で経験していることが自分の職業となって生きていけるのであれば、こんなに幸せなことはないと思います」

大

音ラボで制作する曲は、本当に世に送り出して形として残るといふ点が授業の課題との大きな違い。単に「芸術的にいい曲」「音符の配列が美しい曲」ではダメで、最終的にはクライアントのオーダーに答えられるスキルが求められます。一人の作家として、妥協は許されないとこの緊張感を常に持つて作曲りに臨んでいます。

大音ラボのプロジェクトに関わらせていただく中で一番驚いたのは、レコーディングの現場が授業の実習で経験したことと同じだったこと。歌唱や演奏のディレクション、スタッフとのやりとりなど「実際の現場でやること、求められることを授業で学んでいたんだ」と、外部のプロジェクトに参加して初めてわかりました。

今回「オガッタ!」の作曲を担当させていただいたのは、専攻内で年に2回実施される模擬コンペで賞を取ったこともひとつのきっかけだったと思います。このように、結果を出せば「次」につながるやりがいと、取りこぼしのないように毎回、背水の陣という緊張感が常に背中合わせですが、今はその緊張感が心地よく、楽しくも感じています。

将来的にプロデューサー活動や作曲、アレンジの世界に進みたいと考えています。厳しい世界で作家、プロデューサーとして生き残るためには、確かな技術と経験が必要です。専攻で徹底的にスキルを磨き、大音ラボで現場の経験を積む。在学中からプロで通用する力を身につけられるCr専攻に入って本当に良かったと感じています。

外部プロジェクトに参加して感じた、
日々の授業のリアリティー。



山田結互

[ミュージッククリエーション専攻・大3]



アイプロX 第1期 »楽曲提供

アイドルグループ

「JOY VAN CREW」への楽曲提供。
1st シングル「SPECIAL SWEET DAY」

監修：足立知藤

参加学生：「SPECIAL SWEET DAY」作詞作曲
藤吉朋美(2年)、編曲 山田結互(2年)／「恋愛ガール」作詞作曲 藤吉朋美(2年)、編曲 中村拓海(2年)
レコーディング・ミックス：神戸電子専門学校



「ふたりモノローグ」»ドラマ

出演：福原遥 柳美稀 原作：ツナミノユウ
音楽：渡邊崇 監督・脚本：倉田健次
主題歌：山本彩「Let's go crazy」(laugh out loud records)
(c)Cygames, Inc.
(c)Yu Tsunamino
ミックス：津田一平
参加学生：馬瀬みさき、申恩雨、服部美音、堀本陸、山田結互、横田晃希(以上2年)

「不惑検定」»オーディオドラマ

NHK FMにて2018年3月10日 午後10時
～午後10時50分放送。NHKFMシアター
「不惑検定」の音楽を大音ラボが担当。

監修：渡邊崇

参加学生：馬瀬みさき、富内瑞泉、藤吉朋美、堀本陸、丸岡裕子、横田晃希(以上2年)、池田裕樹、榎内日南子、田中津久美(以上1年)



ひろしまポップカルチャー2017 アニメ音楽コンサート »イベント

「ひろしまポップカルチャー2017」のアニメ音楽
コンサートで演奏されたアニメソングの室内楽編
曲を担当。

監修：渡邊崇、森本友紀

参加学生：井上葵、馬瀬みさき、服部美音、藤吉朋美、堀本陸、丸岡裕子、山田結互、横田晃希(以上2年)、浅田葉月、榎内日南子、古谷晴香、御園生葉月(以上1年)



「おべんとう」»短編映画

短編映画「おべんとう」劇伴制作に参加。

板橋基之監督作品

- ・2016年モントリオール国際映画祭上映作品
- ・モントリオール世界映画祭 フォーカス・オン・ワールドシネマ 2016
- ・ワールドフェスト ヒューストン 2017
- ・ショートショートフィルムフェスティバル&アジア 2017

音楽：渡邊崇

参加学生：井上葵、馬瀬みさき、申恩雨、服部美音、藤吉朋美、藤原麻矢、堀本陸、横田晃希、渡邊菜優(以上1年)

マロニエファッショングランプリ2017

マロニエファッショングランプリ2018 »イベント

マロニエファッションデザイン専門学校主催

「マロニエファッショングランプリ2018」楽曲制作。

音楽監修：渡邊崇

参加学生：馬瀬みさき、城家菜々、富内瑞泉、服部美音、藤吉朋美、堀本陸、丸岡裕子、横田晃希(以上2年)、浅田葉月、池田航大、池田裕樹、榎内日南子、河野音弥、中島未希、福田乃杏、御園生葉月、安永希(以上1年)

ミックス：神戸電子専門学校



「パパはわるものチャンピオン」»映画

映画「パパはわるものチャンピオン」劇伴制作に参加。
大阪音楽大学K号館「録音スタジオ」で劇伴レコーディングを行い、演奏は本学教員・卒業生・学生が担当。

配給：ショウゲート

(c)2018「パパはわるものチャンピオン」製作委員会

(c)2011 Masahiro Itabashi & Hisanori Yoshida. Published by IWASAKI Publishing Co., Ltd. Printed in Japan.

原作：「パパのしごとはわるものです」「パパはわるものチャンピオン」

作：板橋雅弘／絵：吉田尚令(岩崎書店刊)

監督・脚本：藤村享平

主題歌：高橋優「ありがとう」(ワーナーミュージックジャパン/unBORDE)

音楽：渡邊崇

参加学生：馬瀬みさき、申恩雨、服部美音、堀本陸、横田晃希(以上2年)

2018年
9月21日(金)
全国ロードショー!!



DAION LAB:Works

どこかで聞いたことがあるかも！？

大音ラボから生まれた 作品の数々。

映画、テレビ番組、イベントなど、幅広いカテゴリーのプロジェクトに多くの学生が積極的に参加しています。それらの中から、ここでは楽曲制作実績の一例をご紹介します。

※記事中の学年表記はプロジェクト参加当時のもの



帝一の國 »映画

合唱パートのレコーディングは大阪音楽大学K号館「録音スタジオ」で実施し、合唱には大阪音楽大学の学生も参加。

(c)2017 フジテレビジョン 集英社 東宝 (c)古屋丸丸/集英社

音楽：渡邊崇



スタースカウト総選挙2017 »イベント

スタースカウト総選挙2017のテーマソング「未来へ」を制作。

ボーカル：TOWA 楽曲監修：徳永暁人、岡崎雪

参加学生：作曲 榎内日南子 (1年)、作詞 田中津久美(1年)、編曲 横田晃希(2年)、Guitar 中村拓海 (2年)、Bass 福田乃杏(1年)、Chorus 榎内日南子、亀井志朋、田中津久美(以上1年)
ミックス：神戸電子専門学校



「パンとバスと2度目のハツコイ」»映画

楽曲制作を担当。

今泉力哉監督作品

出演：深川麻衣 山下健二郎(三代目 J Soul Brothers) ほか
(c)2017映画「パンとバスと2度目のハツコイ」製作委員会

音楽：渡邊崇

参加学生：馬瀬みさき、申恩雨、中村拓海、服部美音、藤吉朋美、堀本陸、丸岡裕子、山田結互、横田晃希(以上2年)

学生のみずみずしい企画を
楽しみにしています。



柿塚 拓真

〔豊中市立文化芸術センター 事業プロデューサー〕

年間4回、当センターのロビーコンサート企画・運営を開催していただくなど、Co専攻の皆さんはとても重要なパートナー。20歳前後の若い感性から生み出される企画はみずみずしく、毎回とても楽しみにしています。イベントのプロデュースは「やってみなければわからない」というのがすべて。実際に企画・運営という本番を踏むことが一番の練習になります。epoch/cというプロダクションを通して、地元のホールを使って実践できるのはすごく意味のあることだと思います。



各自の企画を授業でブラッシュアップしていきました。今年6月には、いずみホールの梅垣香織氏と、おふいすべがの松本京子氏をお迎えし、学生たちが企画をプレゼンテーション。そのときにいただいたご意見を参考に今回の企画が決定しました。



はて？サテ？サティ！（仮）

作曲家エリック・サティの「生き方」を基にしたオリジナル物語による朗読コンサート。「ジムノペディ」をはじめとする代表曲のピアノ演奏と併せて、サティの魅力に迫ります。

日時：2019年1月31日(木)

開演19:00(開場18:30)

場所：豊中市立文化芸術センター
小ホール

詳細は、10月下旬頃に本専攻のSNS(epoch/cウェブサイト)をご確認ください。

> epoch/c ウェブサイト (epoch/cで検索)

http://mcom.jp/epoch/

> 公式Twitter @daion_mcom



夏季休暇中に学生たちが練り上げた企画案について、文化芸術センターのスタッフと初打ち合わせ。チケット価格の妥当性や広報の手法、タイミングなど、プロ目線のアドバイスをもとにさらに詳細を煮詰めていく。



プロの現場を経験し、「できること」が増えるのを実感



山手健人・前田瞳・大山紗奈

〔ミュージックコミュニケーション専攻・大3〕

これまで2年間、さまざまなイベントを通して企画の組み立て方を学び、学内外でのさまざまな打ち合わせなども経験してきました。今回、初めて有料イベントを企画しましたが、値段設定をはじめ考えなければならぬことが次から次へと出てくるの

で緊張の連続です。先生方や外部の方との打ち合わせなどで「まだ、全然ダメだな」と感じることもありますが、在学中からプロの現場を経験できるのは大事な機会。経験を積み重ねることで「できること」が少しずつ増えるのを日々実感しています。

Co

専攻の主軸となる「ミュージックコミュニケーション演習」の実践の場として位置づけられるepoch/c。久保田テツ准教授は「専攻のコンセプト「社会と音楽をつなぐ」を実現するためには、生きた教材として本番を経験することが大事。学生という立場に甘えることなく社会人とフラットに接する経験を積むことも期待しています」と話します。

1～2年生の間は豊中市立文化芸術センターでのロビーコンサートなどに主に無料イベントの企画・運営で経験を積み、3年生からは黒字化をめざす有料イベントの実現を通してビジネス感覚を養うことが求められます。現在は来年1月に開催する初の有料イベントに向け、3年生の企画が進行中。フレッシジャーもありますが、自分たちで考え、道を切り開く感覚が楽しい」と生き生きと話す学生たちのまなざしに、イベント成功への期待が高まります。



epoch/c: New Challenge

初の有料イベント成功を目指して

来年1月、epoch/c(エポック)初の有料イベントを開催。ミュージックコミュニケーション専攻(以下、Co専攻)内で決定した企画の実現に向け、学外関係者との打ち合わせにお邪魔しました。



7月26日に本学で開催されたキックオフミーティング。沿線の各ホール担当者が出席し、Co専攻のプロジェクトメンバーから企画概要やスケジュール、実施体制について説明した。

◎メインイベント会場(宝塚駅から南下順)

ベガ・ホール(宝塚市)

川西市みづなホール(川西市)

箕面市立メイプルホール／グリーンホール(箕面市)

池田市民文化会館・アゼリアホール(池田市)

豊中市立文化芸術センター(豊中市)

大阪音楽大学 ザ・カレッジ・オペラハウス(豊中市)

大阪工業大学・常翔ホール(大阪市)

私たちも楽しみにしています！

岡本 健一

〔川西市文化・スポーツ振興財団 常務理事〕

近年、さまざまなホールで企画力の低下が叫ばれている中において、今回のリレーコンサートは経営環境が異なる事業体が現状を改善し、困難と言われる共同企画への道筋へとなり得るものと感じています。年齢や経験にとらわれることなく、学生の若い感性や発想力が融合し、活かされ「宝塚イズム」が継承できるプロデュースが完成することを願っています。

朝倉 祥子

〔豊中市立文化芸術センター 総合館長〕

小林一三が唱え、宝塚線沿線で引き継がれてきた「生活を楽しむ文化」。当館ではクラシック音楽を通して音楽を身近に楽しめる企画ができればと考えています。住民の方々と共に楽しめるよう、学生たちの新鮮な企画にも期待しています。

中村 阪急宝塚線は宝塚歌劇団に象徴されるように、昔から、文化の香りがする路線でした。
坂井 その名残が、今でも沿線にはさまざまなホールがあり、それぞれ特色のあるまちになっていますね。
中村 大音は1954(昭和29)年に移転した庄内で60年以上にわたってひとつの大きな文化拠点としての役割を担ってきました。しかし、沿線に点在するそれらのホールを結び付けようという働きかけは、これまでこの施設も積極的に進めてきませんでした。今回、阪急からの後押しもあって、関西で唯一の音楽単科大学である大音がイニシアチブをとる形で各ホールにお声がけしたところ、いずれも快諾してくださったことから開催に向けて具体的に動き出しました。

坂井 皆さんの賛同を得られたのは、どのホールも同じ思いを持つていたということかもしれませんね。私自身は大音入学前から「地域や社会と音楽で結びついていくこと」を個人的なテーマとして考えていました。まさにこのイベントで大音が阪急宝塚線沿線にある意味を感じられるのではないかと思います。
中村 今回のプロジェクトは大音にとって「音楽文化を結び付け、発信する核になる」ということだけでなく、もう一つ大事な視点がありません。開設から3年たったCo専攻では、学生たちに学内外でさまざまな企画を運営してもらっていますが、今回のように長期間にわたる大きなプロジェクトに参加することで商業的な側面も含めた「本物」を経験できるということですね。Co専攻に限ったことではありません。

ませんが、プロの現場で通用する力を身につけるためには本物の舞台を経験することが何十時間も練習するより大きな学びと、経験をえられるんです。
坂井 そうですね。学外の方と幅広いイベントを企画運営していくのは、専攻一学期生の私たちにとっても、これまで積み上げてきた4年間の集大成になるもの。後輩たちにもつなげていけるようなイベントにしたいと考えています。
中村 ゼロからつくるのは大変なことですが、このイベントが定着すれば、阪急、大音、沿線各ホール、Co専攻いずれにとっても秋のビッグイベントになります。学生たちの頑張りを大学も最大限バックアップします。一緒に成功させましょう。



4年間の集大成として、
後輩たちにもつながる
イベントにしたい。

—— 坂井 威文
〔ミュージックコミュニケーション専攻・大3〕

学びと経験が得られる
“本物”の現場。
学生たちの頑張りを
大学もバックアップします。
—— 中村 孝義 理事長



この企画は、阪急宝塚線沿線に点在するホールや大学、商業・公共施設などを音楽によって結ぶことで沿線地域の音楽文化の発展に貢献するとともに、地域コミュニティやネットワークの活性化を目指すもの。実行委員会は各ホールや阪急電鉄、大音の担当者で構成され、ミュージックコミュニケーション専攻の学生もイベント設計や、実施運営などについて、学びの一環として参加します。今後は、2020年度の本イベント開始に向け、イベントのテーマ設定など数回の協議を開催。2019年度にはプレイベントを実施する予定です。

epoch/c:New Project

阪急電鉄 路線リレーコンサート(仮) を2020年度に開催

2020年、阪急電鉄(以下、阪急)宝塚線沿線のコンサートホールを“音楽”でつなぐリレーコンサートの開催が決定。実行委員長の中村孝義理事長と、事務局となるepoch/cの坂井威文さんがイベントの成功に向けた思いを語り合いました。

02



ポピュラー・ミュージック・フェスティバルを初開催

8月8日(水)ポピュラー・ミュージック・フェスティバルを初めて開催しました。日本のポピュラー音楽の形を大阪音楽大学から提案し、作り上げていきたいという思いから開催されたこのフェスティバルは、さまざまなイベントが企画され大学に特設会場を設けて行われました。高校生バンドによるコンテスト形式のライブではレベルの高い演奏が披露され、他にも高校生アコースティックライブ、教員&在学生ライブ、楽器パート別クリニック、ミュージッククリエーション専攻によるレコーディング実習公開など盛り沢山の内容で、各教室がフレッシュなエネルギーで満ちあふれていました。また、メイン会場特設ステージではスペシャルゲストの韓国出身男性5人組ダンス&ボーカルグループ「M.FECT」によるライブも行われました。今回の参加高校は各地から15校にのぼり、ポピュラー音楽好きの人々が集まった大音は一段と熱い日になりました。



03



漆原朝子特任教授 ヴァイオリンマスタークラスを実施

9月15日(土)に漆原朝子特任教授によるヴァイオリンマスタークラスがミレニアムホールで行われ、高校生4人がレッスンを受講しました。漆原先生のレッスンは受講すると見違えるほど音色が美しく変化するので、学生たちもその機会を心待ちにしています。今回のマスタークラスでは、奥行きがあり響く音を奏でるための体の使い方や呼吸法を中心に、丁寧に分かりやすくご指導いただきました。先生からのアドバイスを意識して演奏すると音に広がり生まれ、音程も安定し、表現に深みが増しました。演奏技術を磨くことや楽曲を理解することと併せて、音色づくりを追求することも非常に重要な要素であると改めて実感するレッスンでした。レッスン終了後には聴講者からの質問にも一つ一つ丁寧に答えてくださり、各自、身になる学びを持ち帰ることができました。特任教授である漆原先生は、年間10回にわたる特別講義で、ヴァイオリン専攻生全員に熱心なレッスンを行っています。



01

第54回オペラ公演「ディレクターズチョイス」シリーズ メノッティ作曲・台本 「テレフォン」「泥棒とオールドミス」



演出：栗園淳、指揮：森香織、「テレフォン」ルーシー：石橋崇実、ベン：晴雅彦、「泥棒とオールドミス」ミス・トッド：児玉祐子、ボブ：西尾岳史、レティーシャ：中嶋康子、ミス・ピンカートン：田邊織恵、制作統括：中村孝義

メノッティ作品の演出によせて 演出家 栗園 淳

晩年迄に20曲以上のオペラ作品を書き上げ、2007年に亡くなったメノッティは、近代と現代に生きた作曲家であり、時代の変遷と共に大きく変わる価値観の中で生きた作曲家とも言えます。「泥棒とオールドミス」は登場人物の性格やその関係性、そこから起こるドラマをコメディタッチに台本と音楽で描き、オペラを知らない一般の方々にも楽しんで頂ける作品に仕上がっています。もうひとつの「テレフォン」は、ダイヤルをまわして相手につながる電話機が一般家庭に広まった時代を、一組のカップルの姿を通してシニカルに捉えるだけではなく、メノッティの思いを世の人に訴えかけた作品です。新しい技術、新しい物をどう受け入れ、どう向合うのか?という問いかけと共に、それにチャレンジし、理解しようという語りかけでもあると思います。戦前戦後の不穏な空気の中で、自分が信じるオペラの力、魅力を人々に伝えるためにはどうすればいいのかと、新しい発想とチャレンジで素晴らしい作品を作り上げ、残っていたそのメノッティの精神が、どこか今の自分たちが置かれている状況と共通するのではないかと考えながら、作品の根底にある要素をしっかりと表現し、皆様にお届けしたいと思います。

11月2日(金)、4日(日)の2日間、ジャン＝カルロ・メノッティ作曲のオペラ「テレフォン」「泥棒とオールドミス」をザ・カレッジ・オペラハウスで上演いたします。演出家が今最も取り上げたいオペラを上演する「ディレクターズチョイスシリーズ」は、昨年度から始まったシリーズで今年演出を担当するのは栗園淳客員教授。人間模様がコミカルタッチに描かれるメノッティの1幕オペラを2本立てでお送りいたします。登場人物の心情を丁寧に描き出す巧みな栗園氏の演出、森香織氏の鮮やかな指揮、ザ・カレッジ・オペラハウスが誇る歌手陣の美声をぜひお楽しみください。

※詳細は裏表紙のコンサートスケジュールでご確認ください。



栗園 淳

演出家、1967年、東京生まれ。1970年に父・栗園安彦のオペラ研鑽に同行するためイタリアローマに渡る。同地で義務教育を終え、サンタ・チェチーリア音楽院ヴァイオリンコースに入学、併せて指揮法を修める。1994年ローマ歌劇場公演に日本側スタッフとして参加、その業績によりローマ歌劇場演出部に迎えられた。1998年新国立劇場開場記念公演(F.ゼッフィレリ演出)「アイダ」を始めとして外来演出家のアシスタントを務める。1997年文化庁青少年芸術劇場・藤原歌劇場「愛の妙薬」で演出家デビュー。次第に活躍の場を欧米に広げる。若手演出家のなかでも群を抜いた活躍を見せ、将来が国のオペラ界を担う人材として囑望されている。

08

キラリ★輝く大音の星 各種コンクールで受賞された皆さん。



村上 優子
(17年度大専修・声楽)
第11回
ペーデン音楽コンクール
声楽部門自由曲コース
一般AⅡの部
第1位

≫2017年12月22日
曳舟文化センター



藤井 未散
(92年度大卒・ピアノ)
第20回
“万里の長城杯”
国際音楽コンクール
ピアノ部門一般の部B
第2位
(第1位該当者なし)

≫2018年3月11日
大阪市立旭区民センター 大ホール



張 楚皓
(大2・声楽)
第19回
中国音楽コンクール
声楽部門大学生の部
銅賞

≫2018年6月3日
中華会館 東亜ホール



梅山 愛理 (大3・ピアノ)
第10回 結晶 International 音楽コンクール
ピアノ部門
第3位、および奨励賞
≫2018年6月28日
名古屋市瑞穂文化小劇場
第43回 名張ピアノコンクール
大学生・
一般の部 **銀賞**
≫2018年7月15日
アドバンスコブADSホール



大畑 卓也
(大専・クラリネット)
第4回 豊中音楽コンクール
管弦楽器部門大学・一般の部
**第1位、および
豊中市長賞**
(最優秀賞)

≫2018年7月1日
大阪音楽大学 ザ・カレッジ・オペラハウス



村田 美由紀
(大2・ピアノ演奏家特別)
第4回 豊中音楽コンクール
ピアノ部門
大学・一般の部
第2位

≫2018年7月1日
大阪音楽大学 ザ・カレッジ・オペラハウス



脇阪 法子
(14年度大卒・声楽)
第4回 豊中音楽コンクール
声楽部門
大学・一般の部
第3位

≫2018年7月1日
大阪音楽大学 ザ・カレッジ・オペラハウス



境 彩希
(大2・ピアノ)
第1回
京都国際音楽コンクール
G大学生・一般の部
審査員特別賞

≫2018年8月9日
文化バルク城陽



小林 大真
(大専・クラリネット)
第21回 “長江杯”
国際音楽コンクール
管楽器部門大学の部
**第1位、および
審査委員長賞**

≫2018年8月18日
ピッコロシアター

05



第2回 こどもがまんなかPROJECTアワード 付属幼稚園教諭が優秀賞を受賞

全日本私立幼稚園連合会が開催した「第2回 こどもがまんなかPROJECTアワード」において、大阪音楽大学付属音楽幼稚園 加藤理恵教諭の研究が優秀賞を受賞しました。これは「幼稚園にある、「こどもがまんなか」のモノ、コト、時間、空間を再発見することで、こどもがまんなかの視点や環境づくりを見直す」をテーマに昨年度から開催されているプロジェクトです。加藤教諭は「ぼくたち、わたしたちだけの空間!」というテーマで、年少クラスでの1年間における「季節」を題材にした共同制作の様子を発表しました。

04



中村孝義理事長が JaSMAM 新理事長に就任

日本音楽芸術マネジメント学会 (Japanese Society for Musical Arts Management、略称: JaSMAM) の新理事長に中村孝義理事長が就任しました。JaSMAMは、音楽芸術の振興および保護に係るマネジメントや政策に関する研究、音楽芸術に係るアートマネジメント教育に関する研究、その他広く音楽芸術に関する研究を推進し、音楽文化の発展と普及に寄与することを目的として2008年に設立されました。7月21日(土)には本学100周年記念館(K号館)で第10回夏の研究会ならびに平成30年度総会が初めて関西で開催され、満10周年を迎えた学会は用意された席がすべて埋まるほど多くの方々に参加され、熱心な議論が行われました。

07



学生支援センターをリニューアル

学生支援センターがリニューアルされ、より使いやすくなりました。明るくなった入り口には自動ドアが設置され、安全性を強化。また、広くなったカウンターにはパソコンを2台設置し、時間割やポータルシステムについての案内が画面を見ながら分かりやすく操作できるようになりました。授業から学生生活のことまで、聞きたいことがある時は気軽に立ち寄ってください。なお、学生支援センターリニューアルに伴い、練習室の貸出場所はA号館ロビーに移動しています。

06



大阪音楽大学 第61回定期演奏会

12月8日(土)第61回大阪音楽大学定期演奏会が、ザ・シンフォニーホールで開催されます。今年は指揮に国内外のオーケストラで音楽監督を歴任してきた井上道義氏、ソリストに本学ヴァイオリン特任教授の漆原朝子氏を迎え、ショスタコーヴィチの「祝典序曲 作品96」、「交響曲 第10番 ホ短調 作品93」、プロコフィエフの「ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 作品19」の3曲をお送りします。ロシア作曲家が生み出した名曲の数々。オーケストラとヴァイオリンが描くロシア音楽の世界をぜひお楽しみください。

2019年度 大学・短大推薦入学試験 出願期間:2018年10月29日(月)~11月5日(月) ※消印有効
詳細は2019年度入学試験要項をご確認ください。

マンツーマンで実技レッスンを **無料** 体験! 申込締切11月20日(火)
トライアルレッスン 12.2sun



お申込みは
こちらから

「音大の先生のレッスンを受けてみたい」「入試について相談したい」という方にぴったりのイベント!独奏曲、基本奏法、基本発声などご希望の内容をレッスンします。お気軽にお申込ください。

会場:大阪音楽大学

時間:9:30~16:45の間の30分間

(お申込受付後、個別にお知らせします)※一部グループレッスンとなります

対象:中学生・高校生

コミュカフェで先生と気軽に話しませんか?

ミュージックコミュニケーション専攻

コミュカフェ 要予約



お申込みはこちら

12/2日13:30~ @大阪音楽大学 D号館101教室

編集後記

プロダクション発足から約1年半。さまざまな活動を重ね、実績を積みつつある2つのプロダクションの制作現場取材しました。学生が参加し大音で生まれた作品や企画が、実践を通して学外へ広がっていく。大音から発信する「音楽」は大きな意味を持ち、いいものをつくりたいと集まる現場は、真剣ながらもたくさんの人の「ワクワク」であふれていました。プロの現場でも聴することのない学生たちの目がキラキラしていたことは、2つのプロダクションの未来を感じさせてくれました。